

2009年1月29日

「活性化委員会の見解」を受けて

関西テレビ放送株式会社

1月28日、関西テレビ活性化委員会より、2009年1月9日付当社「コンプライアンス・CSRレポート（2008年10月～12月）」に対する見解を頂戴致しました。これは1月9日の委員会でのご審議を経てお纏め頂いたものです。

当社の現在の取り組みについて、活性化委員会の方々には、これまでの再発防止や再生への諸施策に加え、（社）日本民間放送連盟への完全復帰や開局50周年を契機とした視聴者の皆様との新たなつながりをつくる取り組みにつきまして、基本にご評価を頂いたものと認識しております。

また、委員会見解において言及されておりますように、経営環境がさらに厳しさを増す中にありましても、地上波放送が第一と認識し、視聴率偏重に陥ることなく、良質な番組を制作するべく、役員、社員一同が今後とも鋭意努力を続けてまいります。

さらに、不採算事業の見直しなど、資源を地上波放送事業に集中させるための方策を、グループ全体を対象として現在検討しておりますが、その進捗状況につきましては、年度末にあたります次回のレポートにおきまして、中間的なご報告をさせていただきます。

今回のレポートもこれまでのように、企業としての関西テレビが、視聴者の皆様や広く社会に向け発信して、つながりを作り上げ、ご理解を深めるものと捉えており、今後もこのような活動報告を続ける所存です。

以上